

留 学 報 告 書

記入日:2017年3月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エドモンズコミュニティカレッジ 現地言語: Edmonds Community College
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年3月22日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	7,000	800,000 円	
宿舍費	6,375	750,000 円	
食費	850	100,000 円	
渡航旅費	1,540	181,390 円	
その他	1,200	138,000 円	旅行、教科書
合計	16,965	1,969,390 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	学内寮
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数4 個室あり,リビングキッチンバストイレはルームメイトとシェア)
3)住居を探した方法:	
	プログラム確定後に、ホームステイか寮か選んだ。
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	学内寮なので大学まで徒歩数分。でも寮費が高い。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	International Student Services という施設があって、日本語を話せるスタッフもいたので気軽に相談に行けた。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	シアトル総領事館から、安全に関するメールが送られてくる。夜 1 人で外出しないようにした。財布やクレジットカードの持ち運びには注意していたので、犯罪には巻き込まれなかった。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	寮のインターネットは夜になると全くつながらなかったが、2017 年 1 月に新しいインターネットが取り付けられ、スピードが一気に上がりネットに困ることはほとんどなくなった。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	キャッシュパスポート、日本から持って行った現金、クレジットカードの順に使う頻度は高かった。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	コンタクト。アメリカでは処方箋がないと絶対に購入できない。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	授業料の支払いは、履修登録後 1 週間以内。Casher's Office というところに直接行くか、オンラインで支払いができる。クレジットカードで払った。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	留学を通して感じたのは、就活まで 1 年をきりましたが、自分の可能性は無限大だということである。留学したことで海外への偏見が減り、日本に限らず海外で就活することも可能なのではないかと思った。また、日本にいたときよりも、いろいろな人と交流する機会が増えて、もっと人と関わりたいと思うようになった。 アメリカではホスピタリティ&ツーリズムを専攻していたので、この業界に就職して多くの人を笑顔にしたい、外国の人と話したいと思っている。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 11 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
EAP101	学術英語 101
科目設置学部・研究科	English For Academic Purposes
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 25%オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Ms. Christine Kobayashi
授業内容	主にイングリッシュリーディング ライティング 文法の授業。速読、エッセイライティング、典型的な文法ミス減らすことを目標にしている。
試験・課題など	リーディングテストが 4 回 ライティングテスト 3 回 毎授業課題は多い、といっても国日の必修英語と同じか、少し多いくらい。内容は難しくないが、(リーディングは少し易しめ)学ぶこともたくさんあった。 【評価】 リーディングテスト 35% 課題 10% ミニクイズ 10% オンラインディスカッション 25%
感想を自由記入	とにかく先生が明るくてとても良い人。Ms. "Kobayashi"はネイティブスピーカーで日本語はほとんど話せません。グループワークも多く、クラスメイトとの会話・交流を重視している授業でした。留学生の友達ができます。学期末に全員の前でスピーチをしますが、発表もクラスメイトのスピーチを聞くのも楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Bridge87	ブリッジ 87(英語)
科目設置学部・研究科	Bridge
履修期間	2016 秋学期
単位数	5(単位数を選べる、1~5 単位 単位数によって課題や試験の量が異なる)
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	自主課題(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Ms. Meg Connelly
授業内容	様々な種類から学習したいことを個人で選べる。 リーディング、ライティング、ボキャブラリー等。 私はボキャブラリーを選んだ。テキスト内の単語を覚え、その単語で例文を作って提出。チャプターごとに理解度チェックテストを受ける。
試験・課題など	課題はテキストをひたすら進める。努力次第ではやく終わる。 「ボキャブラリー強化」を選んだ場合、チャプターごとにテストを受ける(4or5 択)
感想を自由記入	クラス内の交流が全くなく、自習に近いのであまりおすすめしないが、ボキャブラリーを増やしたい等、英語を勉強したいのなら取っても損ではないと思う。英語に関する質問は何でもできる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Tours	ツアー
科目設置学部・研究科	Hospitality/Tourism
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Ms. Beth Odonnel
授業内容	様々なツアーを比較し、ツアーの基礎を学ぶ。(構成要素、特徴、種類、費用、割引、専門用語)顧客のニーズに合うツアーとは何か考える。テキスト、旅行パンフレット、ビデオなどを使用。学期末にグループでツアーを考え、発表する。
試験・課題など	<p>テストは 3 回。記述。難易度は高くない。 課題は多くない。パンフレットが配布され、それをもとに課題を進める。</p> <p>【評価】 テスト 70% 課題 20% グループプレゼン 10%</p>
感想を自由記入	旅行ツアーの基本的なことを学べます。専門用語について学べるのはとても良い機会でした。先生はツーリズムの知識経験が豊富なので、疑問に思ったことは何でも聞いたほうが良いと思います。ペアワーク・グループワークがありますが、この授業は日本人の受講者が多いです…。積極的に日本人以外の近くに座って授業を受けると良いと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Hospitality	ホスピタリティ入門
科目設置学部・研究科	Hospitality/Tourism
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	
担当教授	Ms. Beth Odonnel
授業内容	ホスピタリティ業界を様々な視点から学ぶ。(飲食、宿泊、旅行) ホスピタリティ業界の歴史からトレンド、特徴、有名企業を取り上げられている。全てオンライン。
試験・課題など	<p>テキストを毎週 4~5 チャプター読まなければならない、量が多い。オンラインディスカッションやテストも時間がかかる。学期末に、ホスピタリティ業界で働く人をインタビューした結果をレポートまとめて提出する。</p> <p>【評価】 テスト(週 1) 50% オンラインディスカッション(週 2) 25% 期末レポート 25%</p>
感想を自由記入	<p>ホテル業やレストラン業についての知識が付きました。しかしホスピタリティの幅は広いので、ゴルフやカジノといった内容も取り扱います。自分の興味がない部分はテキストを読む気にならない時もありました。</p> <p>基本的にオンラインの授業は課題量が多いです。オンラインだとクラスメイトと話す機会はないので、個人的には講義の授業をおすすめします。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Travel Sales		トラベルセールス	
科目設置学部・研究科	Hospitality/Tourism		
履修期間	2016 冬学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回		
担当教授	Ms.Beth Odonnel		
授業内容	旅行販売、カスタマーサービスについて学ぶ。コミュニケーションスキルや聞く力を重視する。旅行商品、ツアーを販売するときの過程や、セールススキルを身に着ける。旅行保険や障がい者に対する対応なども取り扱う。		
試験・課題など	【評価】 クラス内課題 50% インタビューレポート 5% 中間・期末テスト 30% ファイナルプロジェクト 15%		
感想を自由記入	グループワークが多い授業です。旅行ツアー販売の重要ポイントを学べるところが魅力的だと思います。最終プロジェクトで自分の好きなツアーを売る実演をします。先生をクライアントと考えて、皆の前で発表するので緊張しましたが良い経験になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Customer Relations		顧客間関係	
科目設置学部・研究科	Business Management		
履修期間	2016 冬学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授	Ms. Beth Odonnel		
授業内容	マネジメントを顧客関係を中心に学ぶ。顧客のニーズを理解しビジネス満足度向上のための方法を探る。		
試験・課題など	試験は中間と期末の 2 回。記述。 授業は講義のあと、ほとんどグループディスカッション。 課題の難易度は高くない。 【評価】 クラス内課題 20% オンライン課題 35% テスト 45%		
感想を自由記入	さまざまな年代の人が受講しており、50 代 40 代のような学生もいるため同年代とは異なる交流を楽しむことができました。カスタマーサティスファクションを向上させるために、様々な方面から顧客との向き合い方を学べるところが好きでした。学期末に Etiquette Brunch というビジネステーブルマナーのような講座に \$ 10 で参加でき、料理やクラスメイト・教授との会話を楽しみながらエチケットを身につけられるので、おすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Symphonic Choir		コーラス	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	2016 冬学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実技(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回		
担当教授	Mr. Kirk Marcy		
授業内容	コーラスの授業。受講のためには指導者の許可 or 合唱経験が必要。 学期末にコンサートがあるので、単位をもらうにはその参加が必須。 コンサートのために毎日練習。		
試験・課題など	試験や課題はなし。楽譜をみて曲の予習復習をする。 出席とリハーサル、コンサート本番の参加がすべて。		
感想を自由記入	個人的に一番好きな授業でした。実技の授業なので授業時間のほとんどパート練習か合わせで歌っていました。歌が好きな人はボイスクラスかこのコーラスの授業をおすすめします。(明治の単位認定はできない)クラスにほとんど留学生はいなかったため、クラスメイトとの会話から英語を学ぶことができました。無料レンタルの iPad を楽譜をして使います。歌詞を覚える必要はありませんでしたが、曲数が多く予習復習に苦労しました。ただ、教会のコンサートに参加できたことは本当に誇りに思います！		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	大学入試
4月～7月	1年春学期 TOEFL 対策 期末試験
8月～9月	夏季休業
10月～12月	1年秋学期 TOEFL 受験 留学出願・面接試験
2016年 1月～3月	選考 留学先決定 期末試験 留学関係書類提出
4月～7月	2年春学期 TOEIC 対策 期末試験 航空券予約
8月～9月	夏季休業 留学
10月～12月	留学 秋学期 期末試験
2017年 1月～3月	留学 冬学期 期末試験
4月～7月	TOEFL ITP 受験 留学報告書提出 ゼミ活動開始
8月～9月	インターンシップ
10月～12月	就活準備

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>留学の第の目的は英語力の向上です。日本で英語を使っていた時に、単語の組み合わせが変、本当の意味を理解していない、と指摘されることが多々ありました。日本で勉強しているだけでは、実際に使われている生きた英語を学ぶことができないと思い、留学を決意しました。英語学習と現地の人との交流を通して、その土地の文化も一緒に学びたいと思いました。異国での生活は大変なことも多い一方、その経験を精神的成長にもつなげたいと思ったことも志望理由のひとつです</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>ネットや本、実際に通っていた先輩の話を聞いて、留学先の情報収集をしました。(気候、服装、宗教、食事、大学等) 留学前に日本の文化や政治を少し学びましたが、留学先では友達や大人の方にいろいろなことを聞かれました。20年間日本で生活していてもわからないことはあり、”I don't know”と言ってしまうことが多かったです。できる限り日本のことを理解して、質問に答えられるようにしてから行くべきだと思います。また、留学中に学ぶことは当然ですが、留学先決定後さらに英語を磨いておくことも重要です。留学期間は限られているため、留学がはじまってから頑張ればいい、では手遅れです。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>一番の理由はツーリズムを学べるカレッジだったからです。観光学を学べるカレッジは2つしかなく、生活費等を考え、こちらのカレッジを選びました。他にも様々な授業が展開されていて、専攻分野が豊富であること、学内寮があること、留学生へのサポートが充実していて面倒見がよいこと、暮らしやすい街であること、9月～3月の半年間とほかのプログラムに比べて期間が長いこと、4年制大学に比べて費用がかからないことも魅力的でした。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学…ジム、図書館、4つのカフェ、ブックストア、寮、バスターミナル、ゴルフ場があり施設が充実していました。評判通り留学生に対するサポート体制がしっかりしていました。きれいな大学だと思います。映画、コーヒー、ピザ等が無料の時もあり、利用していました。</p> <p>学生…留学生は学生全体の7%にすぎませんが、留学生が多いという印象でした。若い人ばかりではなく、クラスによっては50代60代の学生もいました。学生の多くは話好きで優しく、話していてとても楽しかったです。アメリカの人は10代20代でも車通学です。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>大学の寮は全部で3つです。 ☆Rainier Place…学内寮 2009年完成 17～20歳 \$2,860～4,640/quarter コミュニティールームには卓球とビリヤード、テレビ、パソコンがあります。洗濯機・乾燥機はそれぞれ1回\$2です。Game Night, Movie Night, Party Night等さまざまなイベントが催されます。ここで友達を作ることができます。</p> <p>☆Sophie Court…学外寮 徒歩15分 21歳以上 \$2,050～2,350/quarter</p> <p>☆Spencer Court…学外寮 徒歩バス25分 18歳以上 \$2,050～2,350/quarter</p> <p>どの寮もきれいで快適です。家具、キッチン、インターネット、光熱費込。SophieとSpencerは洗濯機と乾燥機がついています。3つとも食堂はないため、自炊です。私たちの代は10人中5人ホームステイ、2人Rainier, 2人Sophie, 1人Spencerでした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>現地に到着してすぐの頃は、明治の友達か寮のルームメイトと過ごしていました。しかし授業が始まると、授業内で友達ができたり、友達の友達という形で仲の良い人が増えたりしていきました。放課後に行われるイベントなどを通して学外の人も知り合うことができました。パーティーの参加者の人にも積極的に話しかけることで、様々な年代の人と話す機会を持てます。また、留学生向けのConversation Partner Program(CPP)ではネイティブスピーカーと会って英語を話したり、文化交流したりすることで新しい交友関係を築くことができます。(週に1回以上会う)</p>
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>・寮生活 もともと実家暮らしで、アメリカでは寮生活だったため、いきなり家事をすべてするのが大変でした。渡航前に何かしら準備が必要ですね。</p> <p>・バス利用 アメリカは車社会なので、車を持っていないと苦労します。バスが来なかったり、大幅に遅れたりします。</p> <p>・文化交流 日本について聞かれても、答えられないことが多く困りました。(政治経済、文化はもちろん、予想外の質問をされます。日本の幽霊とか…)</p> <p>・日本の常識が通じない。(順番を守る、水道水を飲む)</p> <p>・発言力を鍛える 学生の積極的な姿勢についていくことは大変でした。質問があれば、ためらわずに何でも聞くような点を見習いたいと思いました。</p>

学習内容・勉強について	基本的に英語と観光学を専攻していました。私が受けた英語のクラスはリスニング以外すべて学びました。期末のスピーチを全員の前で行うのは緊張しましたが、私は楽しかったです。授業はディスカッションやグループワークが多く、最初はついていくのに精一杯でした。まずは自分の意見を伝えようとする姿勢が大事だと思います。文法が間違っているかもしれないと思いつつも、積極的に発言しました。私が言ったことを“こういう意味？”って要約しながら聞いてくれるクラスメイトもいて、コミュニケーションがとれたり、そこで新しい英語を学ぶこともできました。
課題・試験について	課題の量は、受ける授業と担当の先生によります。授業時間内にグループワークを終わらせて、授業外の課題がない授業もあれば、課題が大量に出される授業もあります。英語は基本的に課題が多いです。課題は授業の翌日までに終わらせなければいけないので、放課後はまず課題に取り掛かりました。睡眠時間を削るのが大変でしたが、だんだんと課題を終わらせるスピードが速くなっていったことが嬉しかったです。評価基準は、出席・グループワーク貢献・小テスト・中間試験・期末試験・最終プレゼン・エッセイ等でした。最終試験やプレゼンに重きを置いている授業が多いです。難易度もそれぞれ異なります。
大学外の活動について	大学外では積極的にイベントやボランティアに参加しました。学生以外と関わる機会を多く持つことができました。放課後には、ネイティブイングリッシュスピーカーと話せるイベントもたくさんありました。 印象に残っているのは、ジャズコンサートのスタッフのコンサートです。音楽のクラスメイトと参加し、イベントを手伝うことができただけでなくジャズを聞くこともできました。大学がボランティアの情報を提供していたりするので、積極的に調べてみると思います。
留学を志す人へ	留学生に親切に接してくれる人もたくさんいますが、一方で自分から話しかけないと話してくれない人も多いです。大切なのは積極的な行動です。間違ってもいいから発言することでスピーキング力は伸びていくと思います。あとはイベントなどに参加して知合いを増やすことです。自分でいろいろなチャンスを探しましょう！ 留学前にある程度スピーキングリスニングをできるようにしておくと、現地で少し楽だと思います。留学前・留学中・留学後の目標を明確にして、価値のある留学になるように頑張ってください！

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業	友達と出かける		
	授業	授業	授業	授業	出かける	買い物	
午後	授業	授業	授業	授業	出かける	ランチ	持ち寄りパーティー
	Conversation Partnership program			買い物		課題	
夕刻	課題	ジム	課題	課題	課題	課題	課題
夜	自習	自習	自習	Talk Time	Talk	Party Night	